

2018年(平成30年)6月18日 月曜日

増える空き家「交流の場」

秋田市 市民ら20人が意見交換



年配者の知恵や経験を地域に還元してもらおうイベント「ナイトセッション2018」

がこのほど、秋田市中通のなかいち秋田銘品館で開かれた。市内外から30〜70代の約20人が参加し、空き家問題に

空き家問題について話し合ったナイトセッション

ついて話し合った。NPO法人秋田バリアフリーネットワーク（北林真知子代表）の主

ゲストスピーカーのNPO法人住まい安心サポート秋田の佐々木義文理事長(68)は、持ち家率が高い本県において人口減少が進んだことで、空き家が発生しやすくなったと指摘。「住居としてだけでなく、町内会館やカルチャー教室など交流の場として活用してはどうか」と提案した。参加者は、お酒や軽食を楽しみながら、和やかな雰囲気の中で約2時間半にわたって意見交換した。

参加した同市寺内の阜山順子さん(66)は「近所にも空き家が増えており、心配していた。同じ問題意識を持つ人と交流し、空き家の活用について理解を深めることができたと話した。

セッションは16年から毎年行われている。

(田村璃子)